

滋賀県の 労働災害の現状

(令和8年4月)



滋賀労働局・労働基準監督署（大津・彦根・東近江）

【もくじ】

令和7年のトピックス

もくじ	- 1 -
死亡災害は前年から2人減	- 2 -
「交通事故」及び「墜落・転落」による死亡災害が最も多い	
60代以上の死亡災害が半数以上	
従来型の死傷災害件数は増加傾向が続く	- 3 -
第三次産業の死傷災害件数が最も多い	
全産業では転倒による死傷災害が最も多い	- 4 -
40代以上の死傷者数が約7割を占める	- 6 -
高年齢労働者を中心に転倒災害が増加	- 8 -
外国人労働者の労働災害が増加	- 9 -

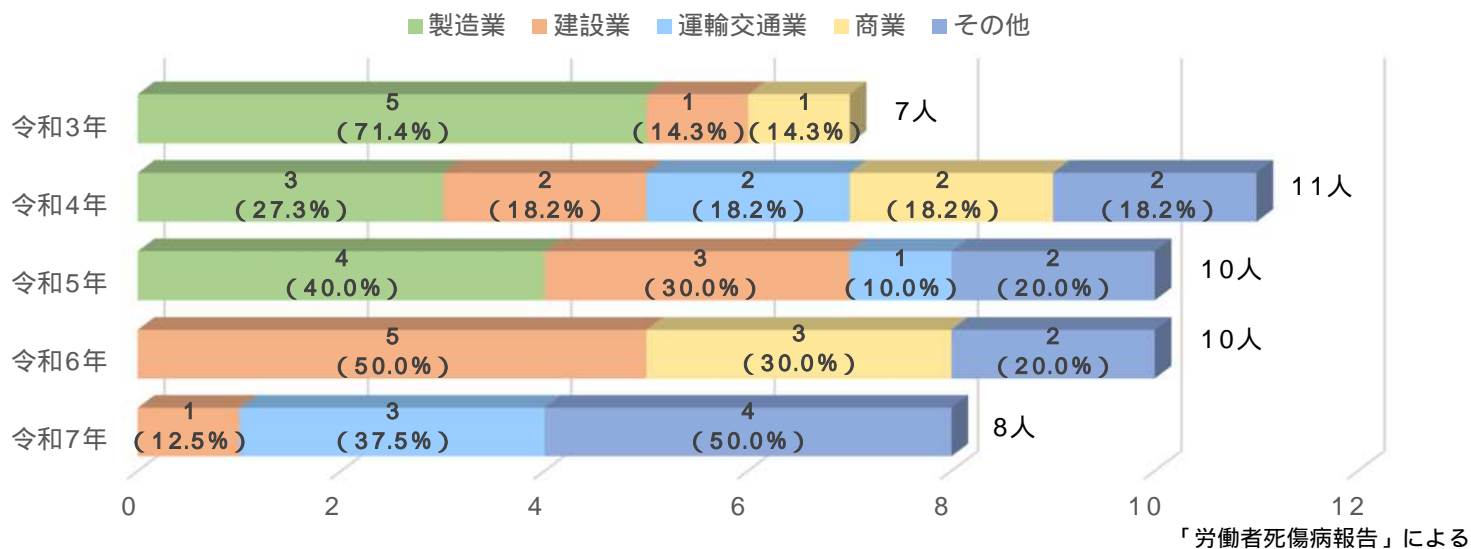
本統計では、新型コロナウイルス感染症関係を除きます。

死亡災害の概要（令和7年）	- 10 -
業種別・事故の型別労働災害発生状況（令和7年）	- 11 -
業種別・起因物別労働災害発生状況（令和7年）	- 12 -
年別・業種別労働災害発生状況（過去10年）	- 13 -
死亡災害の推移（昭和46年以降）	- 14 -
労働災害発生状況の推移（昭和46年以降）	- 15 -

1 死亡災害は前年から2人減

令和7年の労働災害による死亡者数は8人と、令和6年から2人減少した。

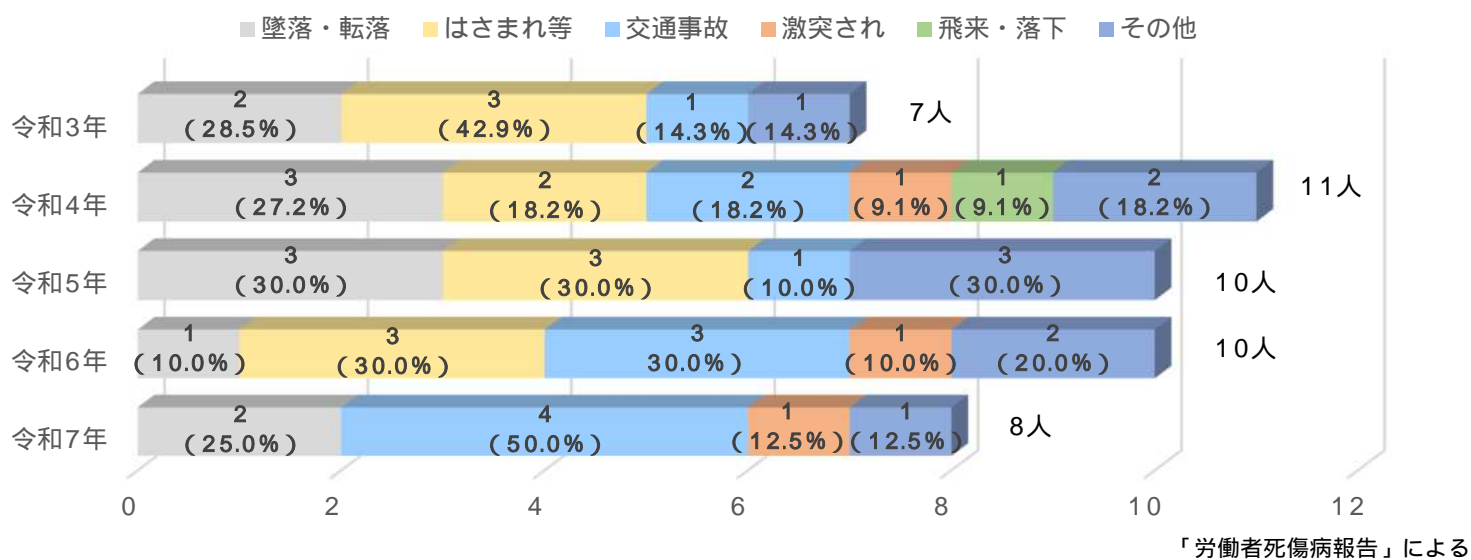
業種別死亡災害発生状況



2 「交通事故」及び「墜落・転落」による死亡災害が最も多い

令和7年の死亡災害8人の事故の型は、「交通事故」が4人、「墜落・転落」が2人及び「激突され」が1人、「その他」が1人だった。

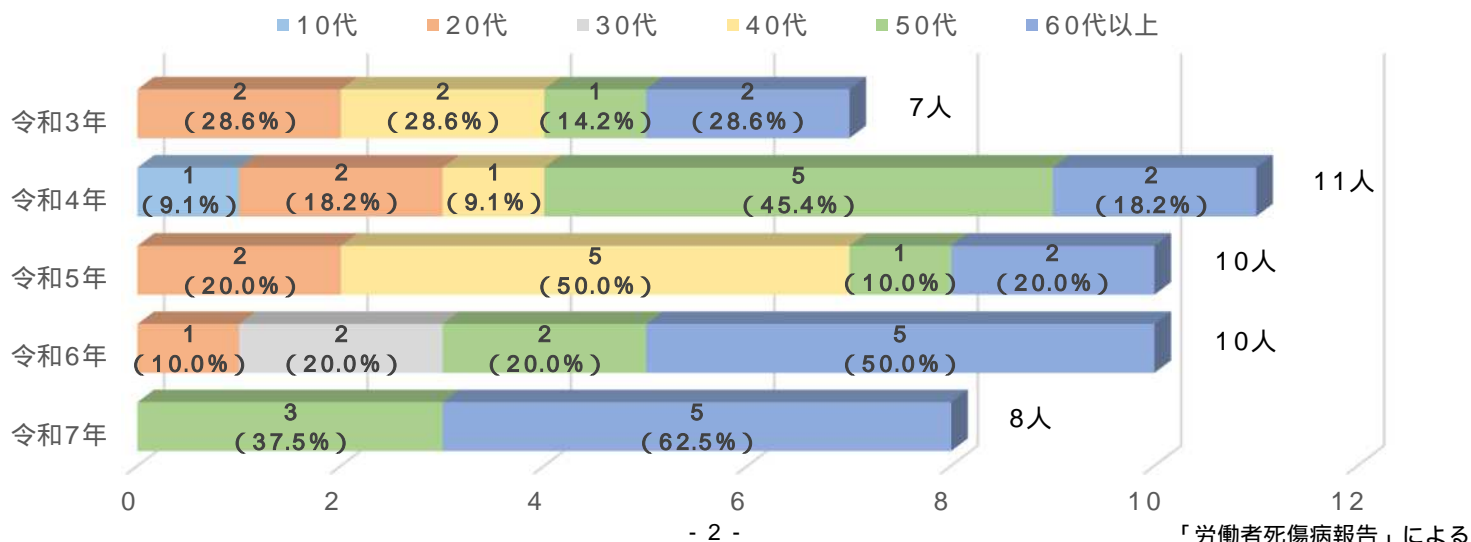
事故の型別死亡災害発生状況



3 60代以上の死亡災害が半数以上

令和7年の死亡災害の被災者を年齢別に見ると、50代が3人、60代以上が5人であった。

年代別死亡災害発生状況

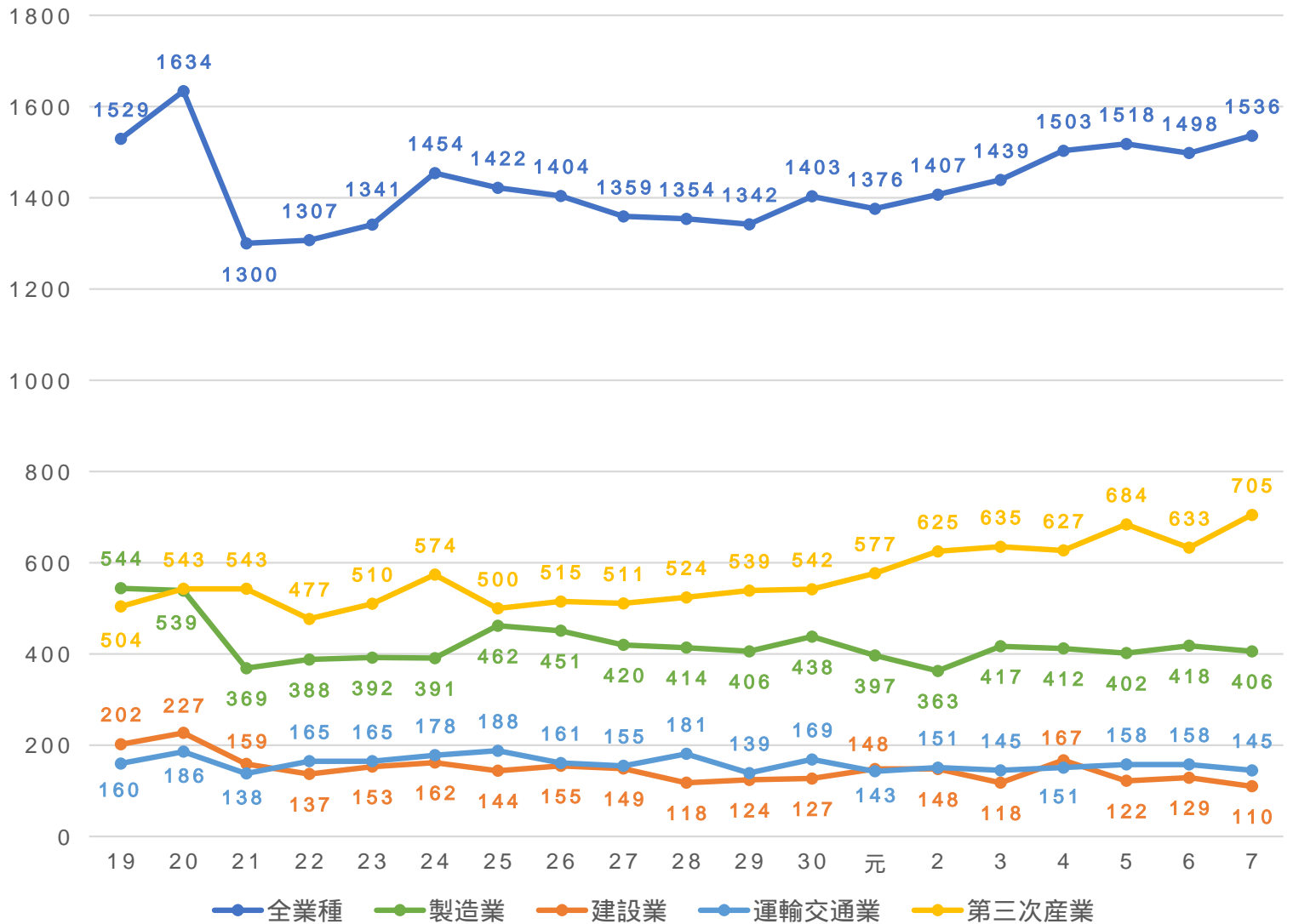


4 従来型の死傷災害件数は増加傾向が続く

滋賀県内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、従来型の労働災害に限ると令和6年に比べ38人の増加となり、平成21年以降最多の人数となった。

業種ごとの内訳では、製造業が406人（前年比-2.9%）、建設業が110人（前年比-14.7%）、運輸交通業が145人（前年比-8.2%）、第三次産業705人（前年比+11.4%）となっている。

休業4日以上死傷者数の推移

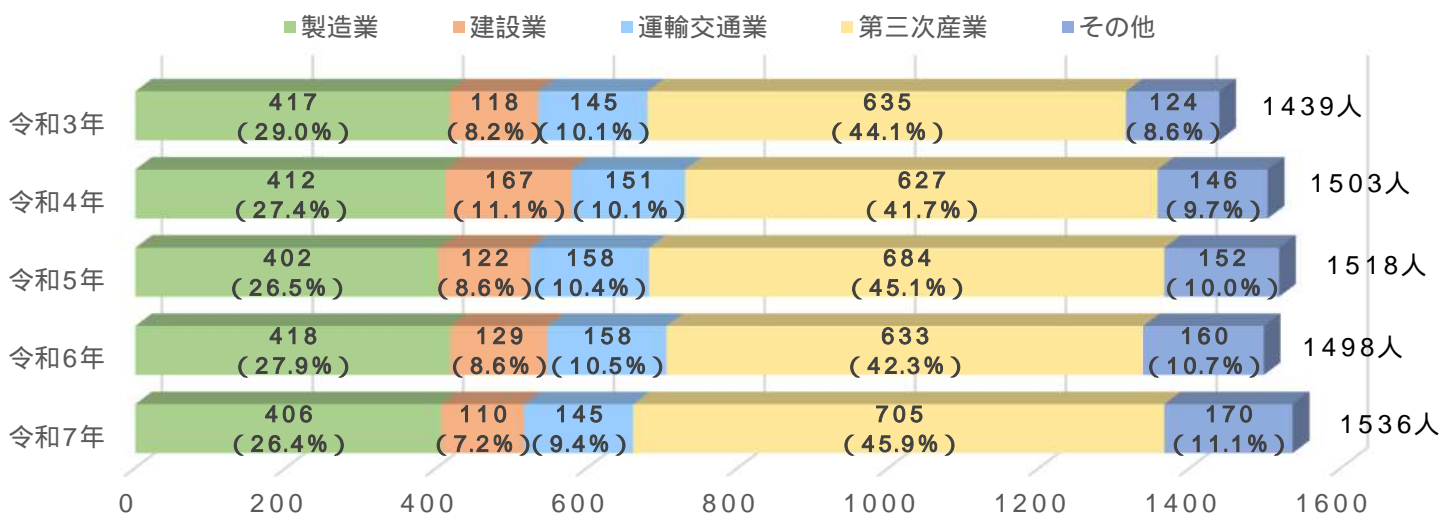


「労働者死傷病報告」による

5 第三次産業の死傷災害件数が最も多い

休業4日以上死傷者数は、第三次産業の占める割合が45.9%と最も高く、次いで製造業（26.4%）、運輸交通業（9.4%）、建設業（7.2%）の順になっている。

業種別死傷災害発生状況

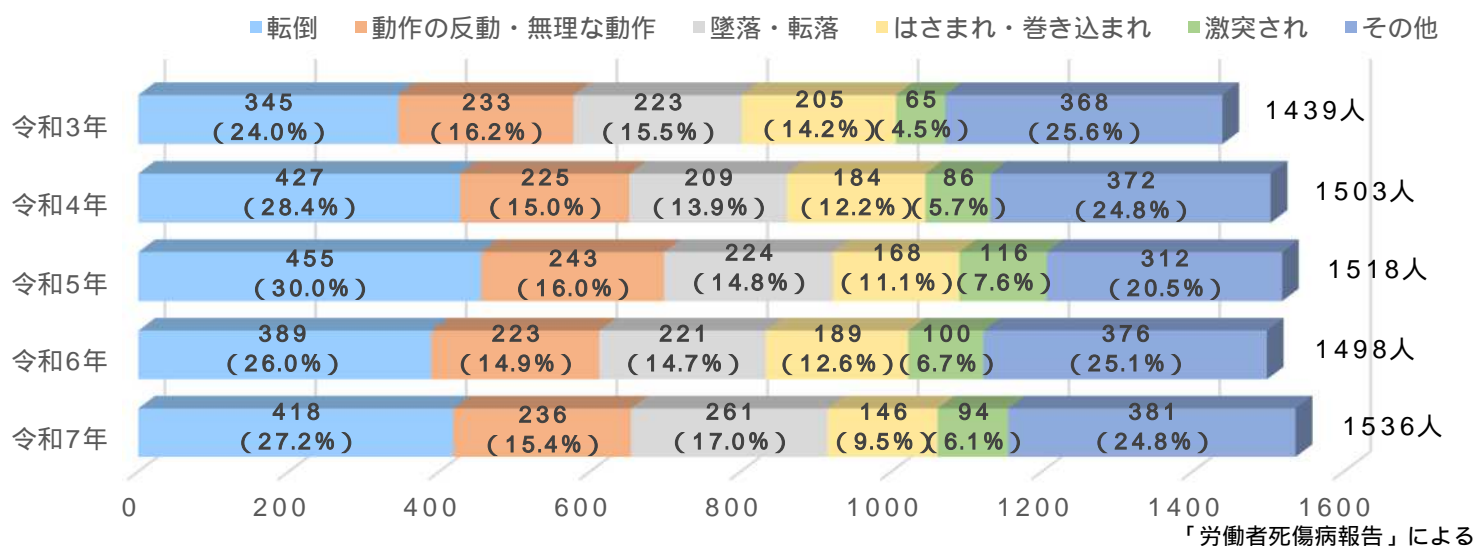


「労働者死傷病報告」による

6 全産業では転倒による死傷災害が最も多い

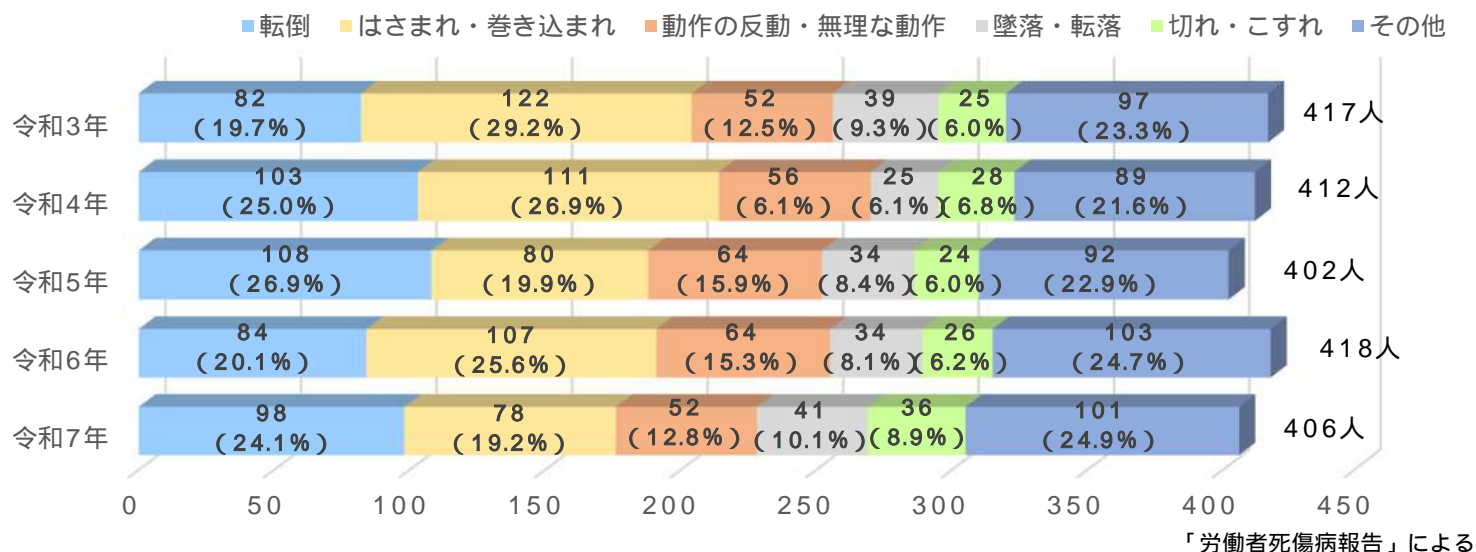
令和7年の死傷災害を事故の型別で見ると、全産業では「転倒」災害が最も多く、これ以外では「墜落・転落」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」、「激突され」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【全産業】



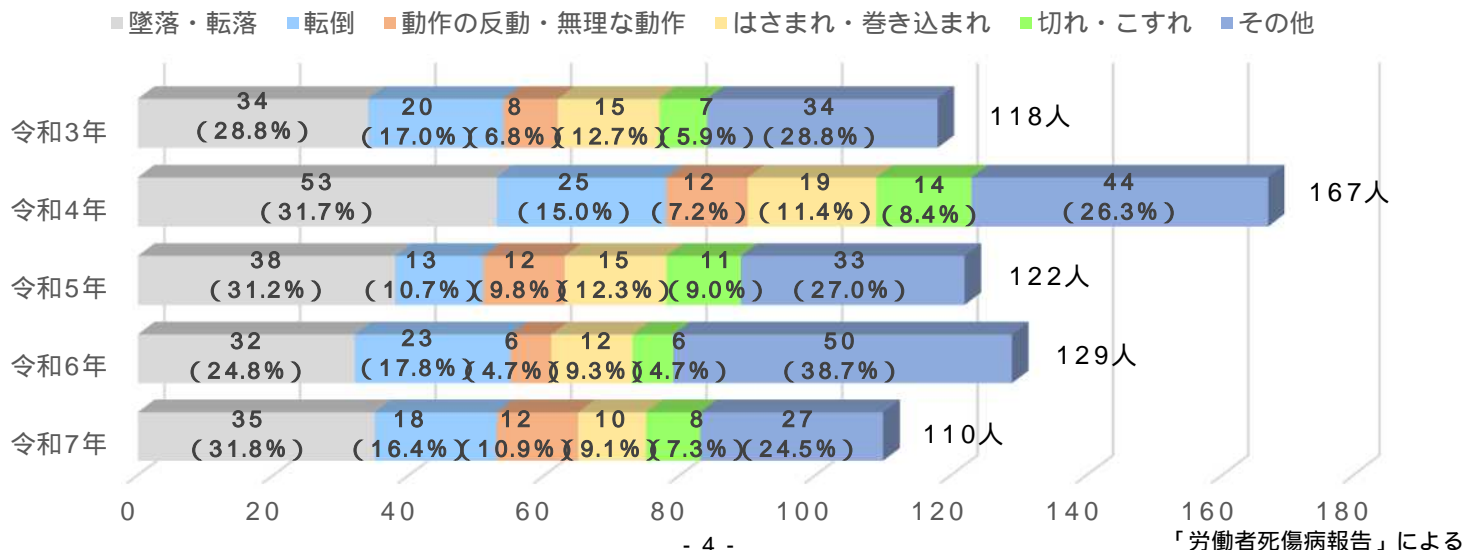
製造業では、「はさまれ・巻き込まれ」と入れ替わる形で「転倒」災害が最多となった。これ以外では、「動作の反動・無理な動作」、「墜落・転落」、「切れ・こすれ」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【製造業】



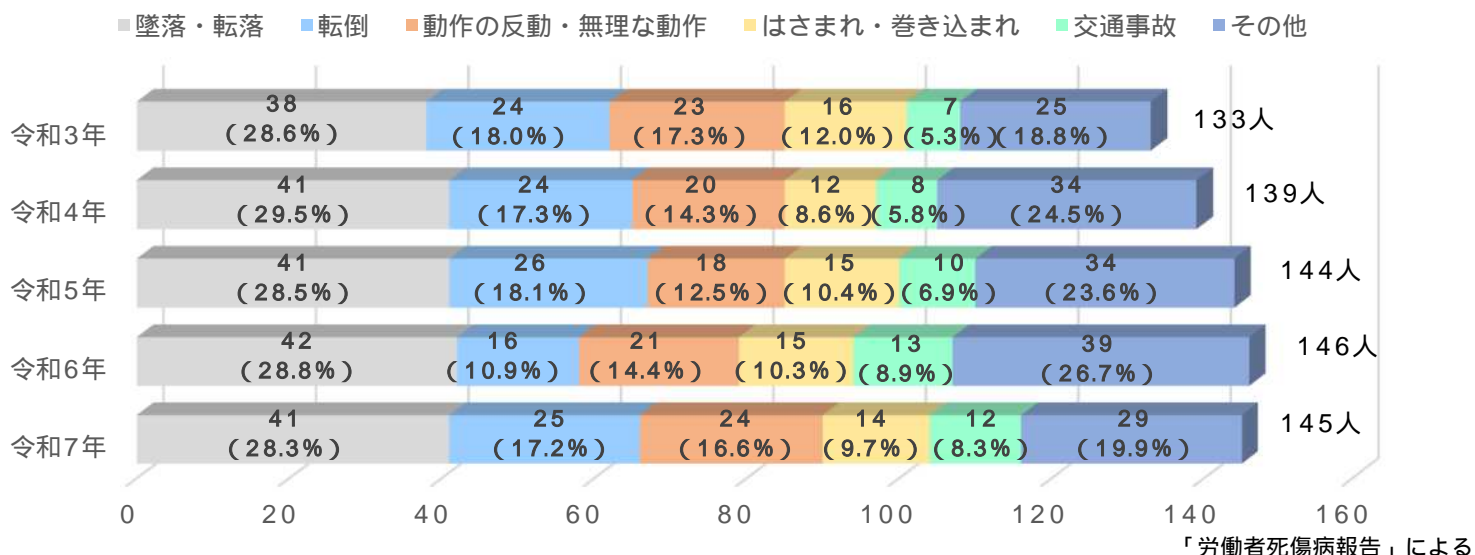
建設業では、「墜落・転落」が最も多く、これ以外では、「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【建設業】



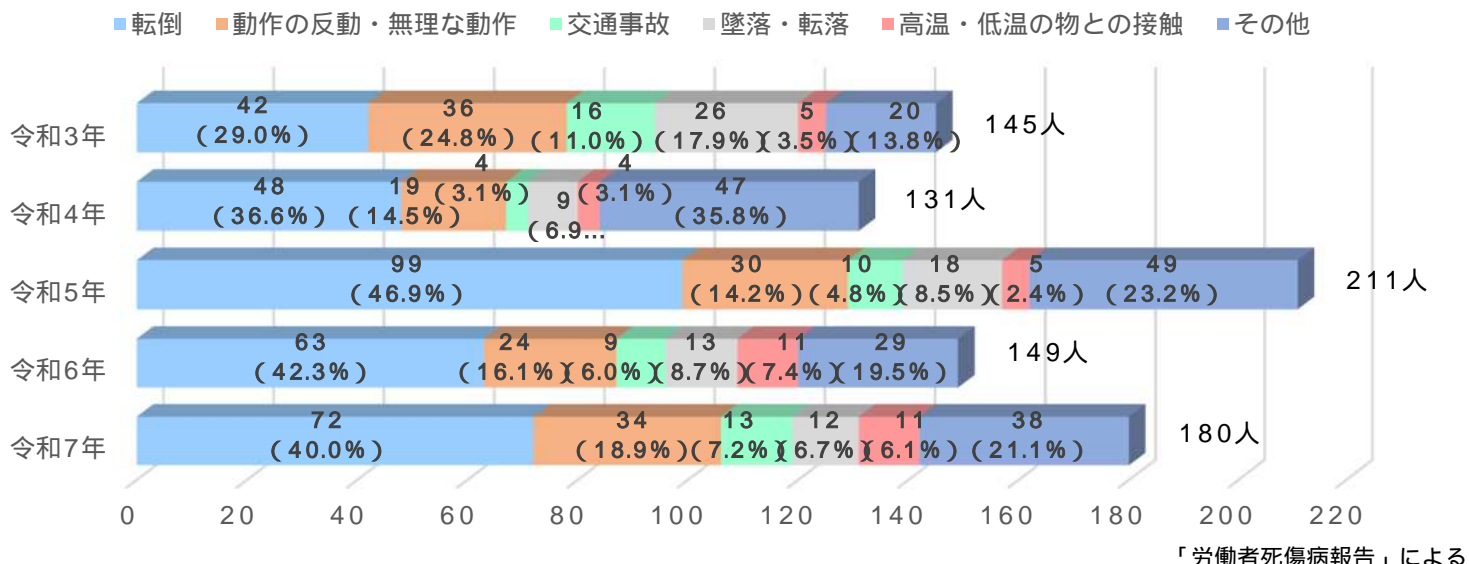
道路貨物運送業では、「墜落・転落」が最も多く、これ以外では「転倒」、「動作の反動・無理な動作」、「はさまれ・巻き込まれ」、「交通事故」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【道路貨物運送業】



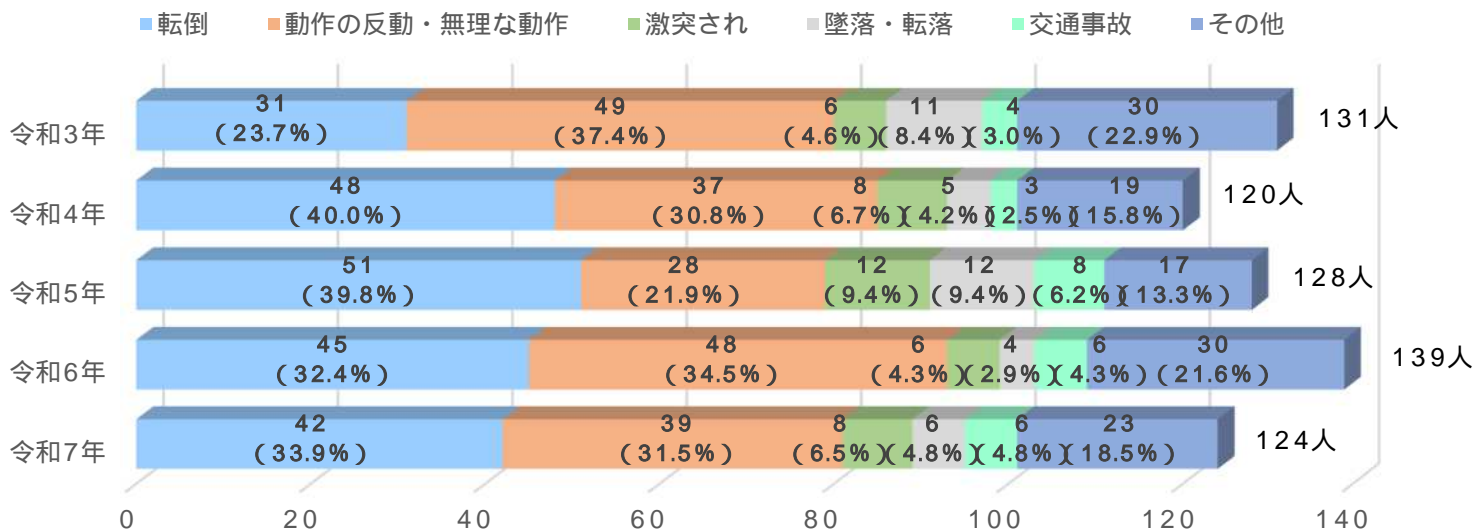
小売業では、「転倒」が最も多く、これ以外では「動作の反動・無理な動作」、「交通事故」、「墜落・転落」、「高温・低温の物との接触」の順となっている。

事故の型別死傷災害発生状況【小売業】



社会福祉施設では、「転倒」が最も多く、これ以外では「動作の反動・無理な動作」、「激突され」、「墜落・転落」、「交通事故」の順となっている。

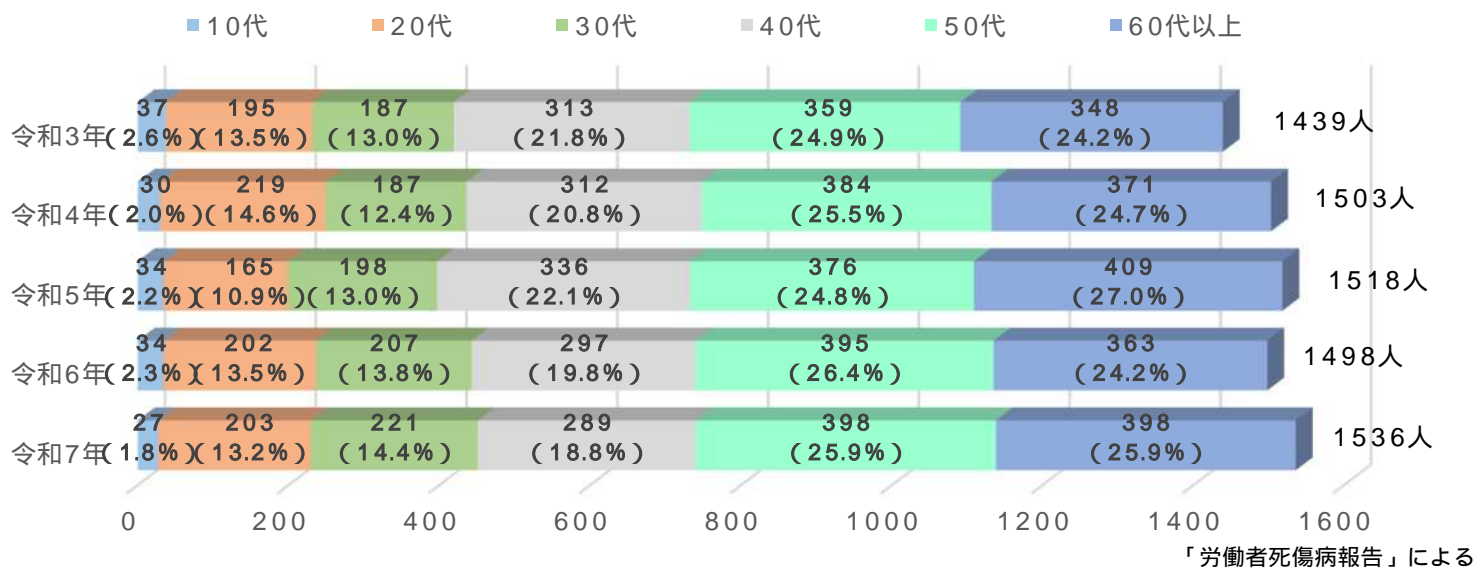
事故の型別死傷災害発生状況【社会福祉施設】



7 40代以上の死傷者数が約7割を占める

令和7年の全産業の死傷災害を年代別で見ると、年代が高いほど死傷者数が多く、特に40代以上の死傷者数が70.6%（1,085人）を占めている。

年代別死傷災害発生状況【全産業】



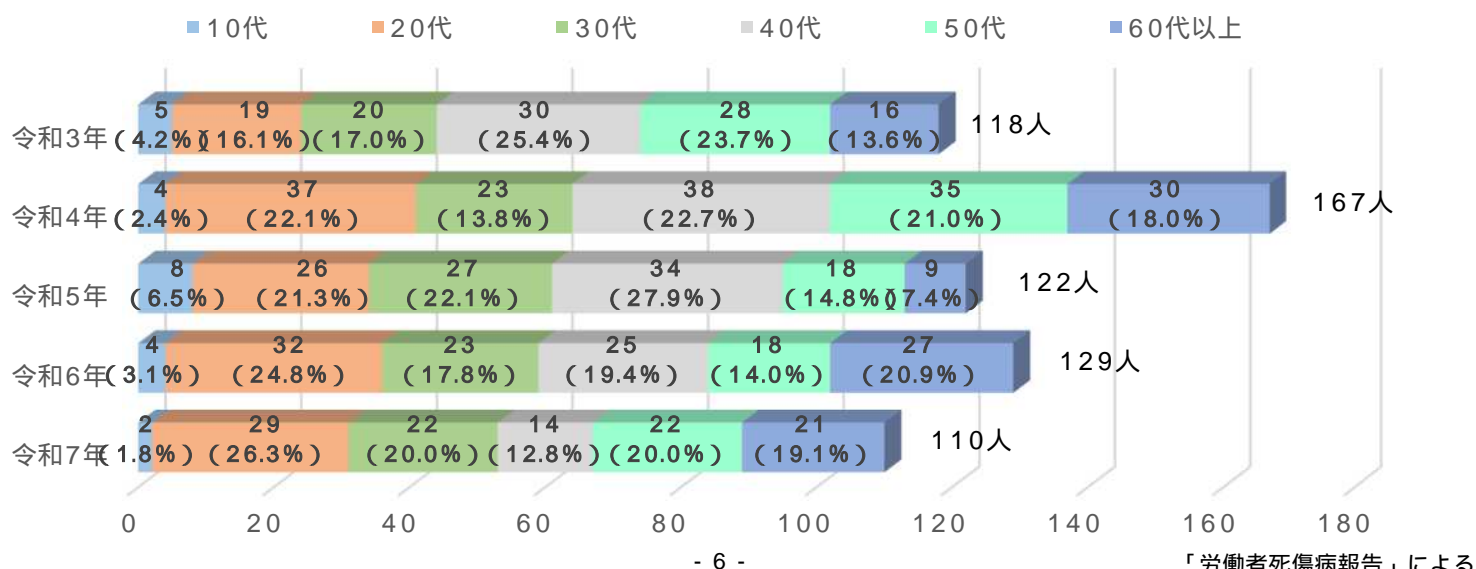
令和7年の製造業の死傷災害を年代別で見ると、年代が高いほど死傷者数が多くなる傾向にあり、特に40代以上の死傷者数が67.0%（272人）を占めている。

年代別死傷災害発生状況【製造業】



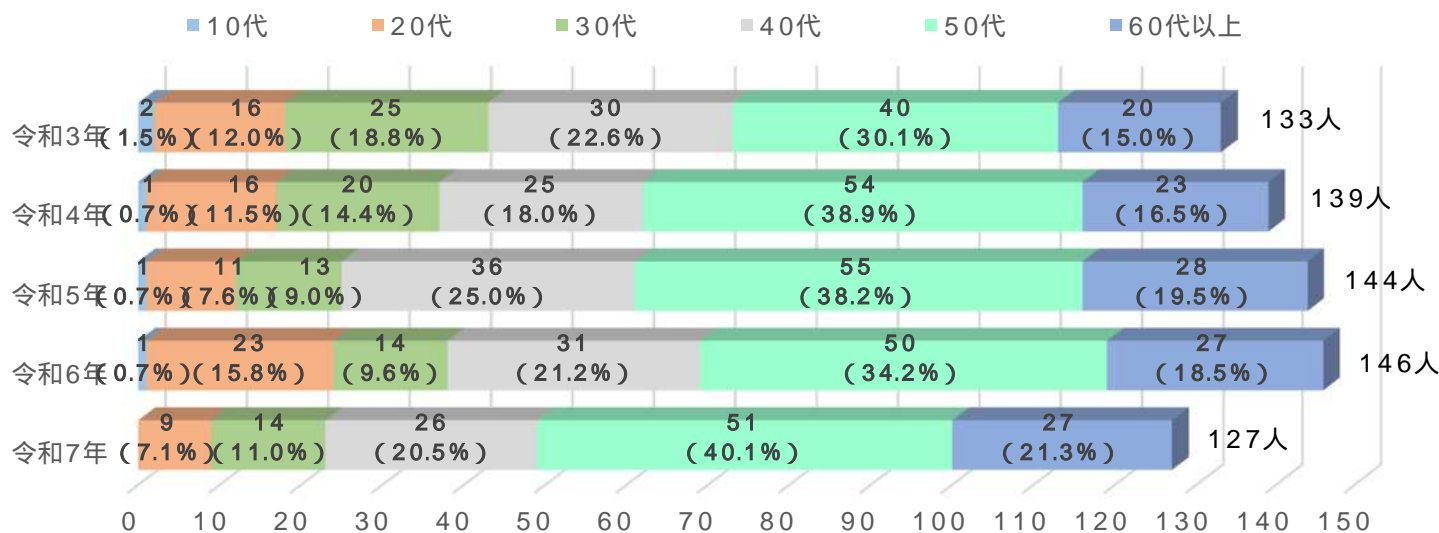
令和7年の建設業の死傷災害を年代別に見ると、20代が最も多く26.3%を占め、次いで30代と50代がそれぞれ20.0%を占めている。

年代別死傷災害発生状況【建設業】



令和7年の道路貨物運送業の死傷災害を年代別で見ると、年代が高いほど死傷者数が多くなる傾向にあり、特に40代以上の死傷者数が81.9%（104人）を占めている。

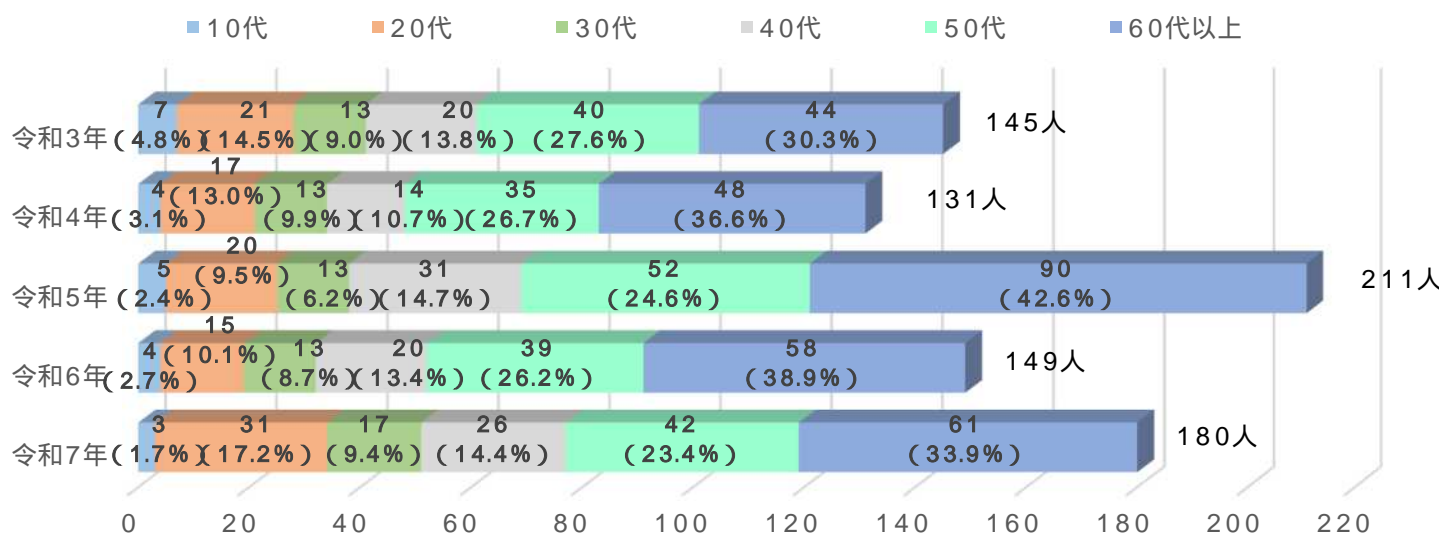
年代別死傷災害発生状況【道路貨物運送業】



「労働者死傷病報告」による

令和7年の小売業の死傷災害を年代別で見ると、年代が高いほど死傷者数が多くなる傾向にあり、特に40代以上の死傷者数が71.7%（129人）を占めている。

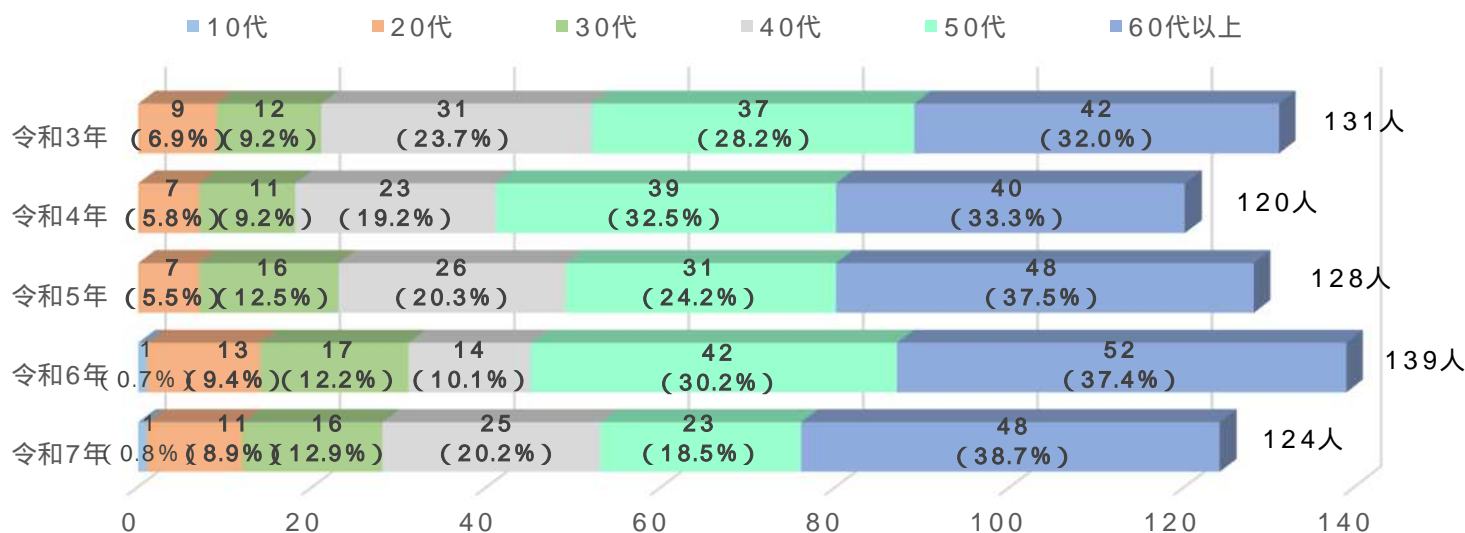
年代別死傷災害発生状況【小売業】



「労働者死傷病報告」による

令和7年の社会福祉施設の死傷災害を年代別に見ると、年代が高いほど死傷者数が多く、特に40代以上の死傷者数が77.4%（96人）を占めている。

年代別死傷災害発生状況【社会福祉施設】

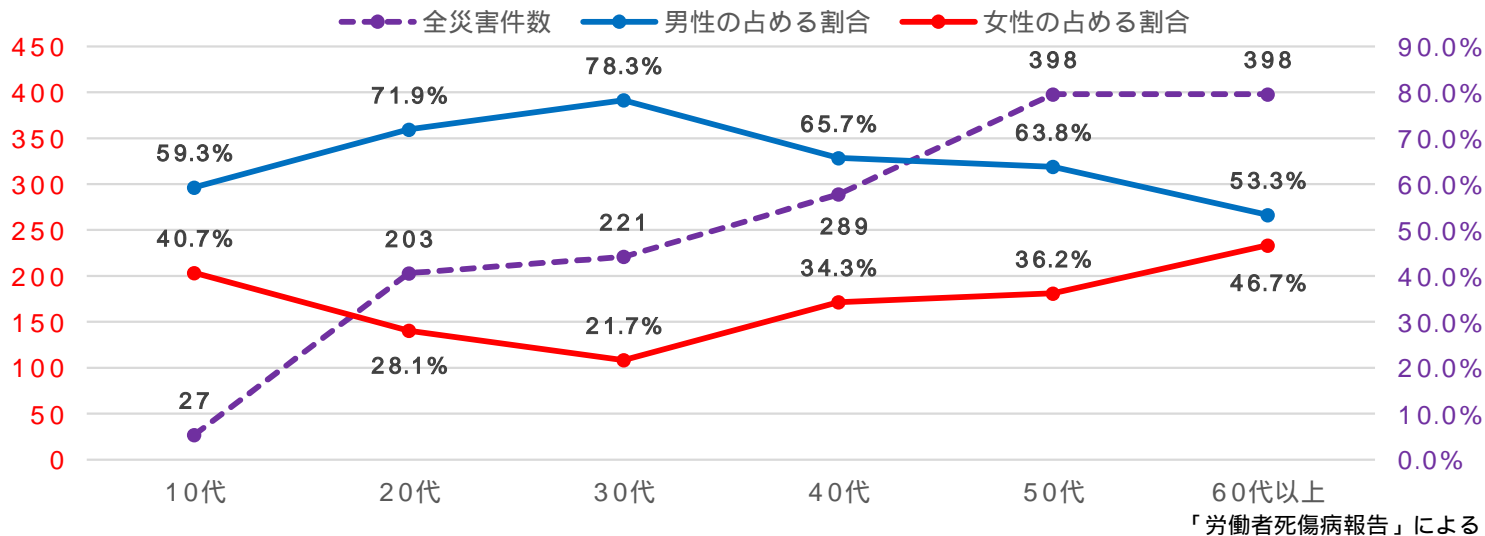


「労働者死傷病報告」による

8 高年齢労働者を中心に転倒災害が増加

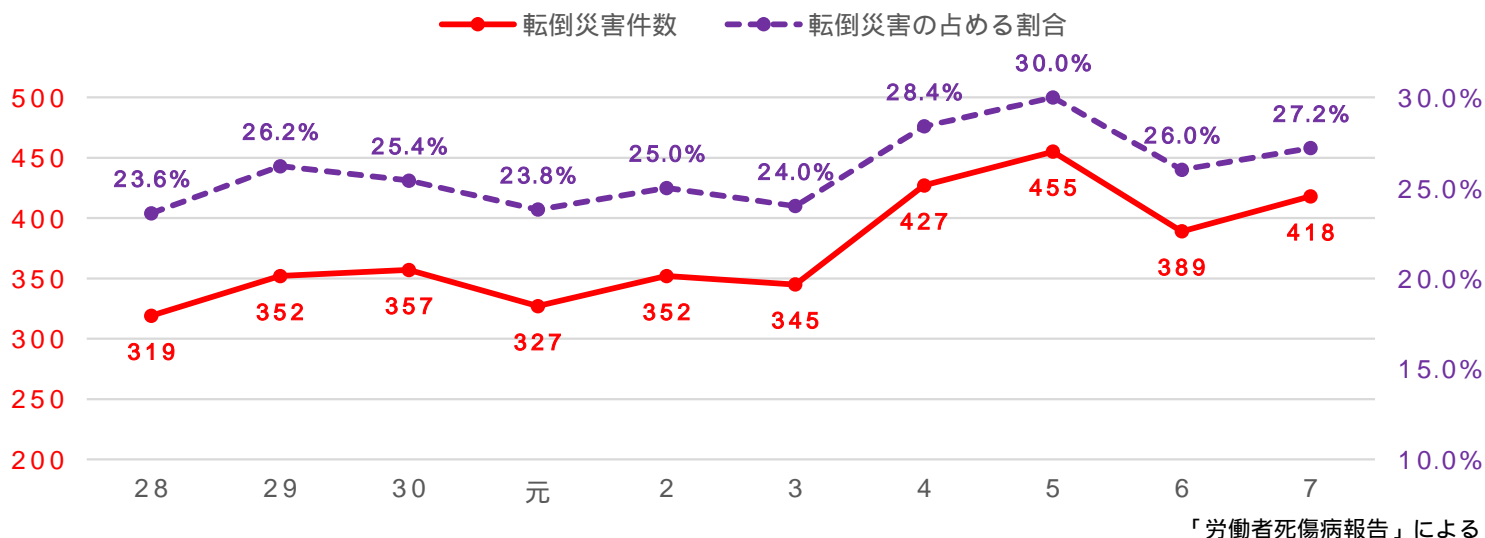
令和7年の全災害に占める性別の割合を見ると、男性は30代がピークで年齢が高くなるほど減少する傾向にあり、女性は30代が最も少なく年齢が高くなるほど災害の割合が増加する傾向にある。

年代別災害件数と性別の割合



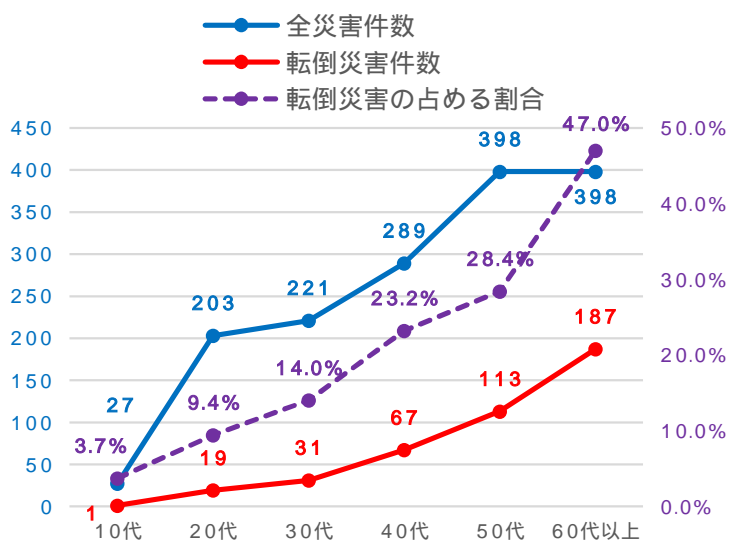
転倒災害の全災害に占める割合は高止まりしており、令和6年に減少したものの令和7年は前年比29人(7.5%)の増加に転じた。令和7年の転倒災害は、全災害の27.2%を占めた。

転倒災害の件数と全体に占める割合

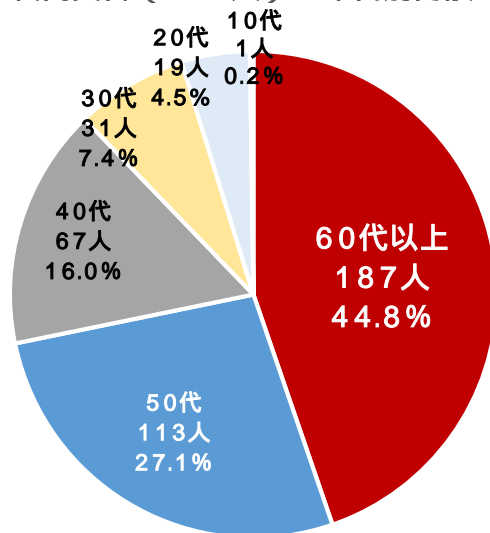


令和7年の年代別の死傷災害は、年代が上がるほど転倒災害件数及び全死傷者数に占める割合が高くなる傾向にあり、60代以上では47.0%を占めた。

年代別災害件数と転倒災害の割合



転倒災害(418人)の年代別内訳

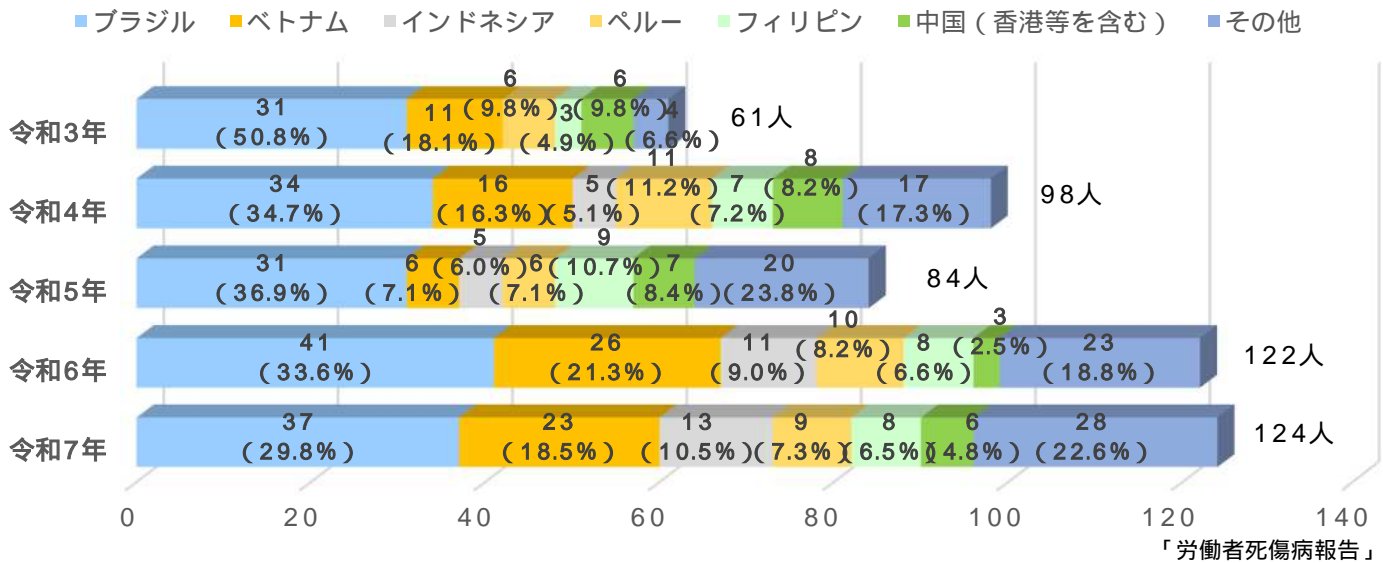


「労働者死傷病報告」による

9 外国人労働者の労働災害が増加

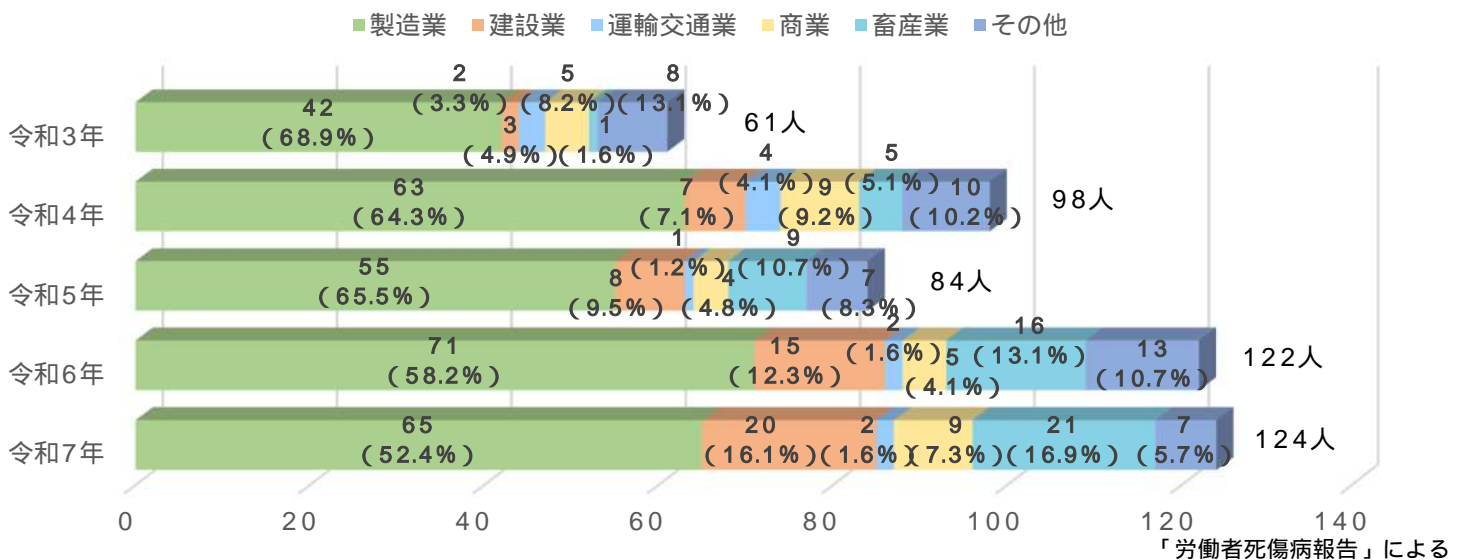
外国人労働者による労働災害は増加傾向にあり、令和7年の国籍別内訳は多い順で、ブラジル（37人）、ベトナム（23人）、インドネシア（13人）、ペルー（9人）、フィリピン（8人）、中国（香港等を含む）（6人）の順となっている。

年別外国籍別死傷災害発生状況



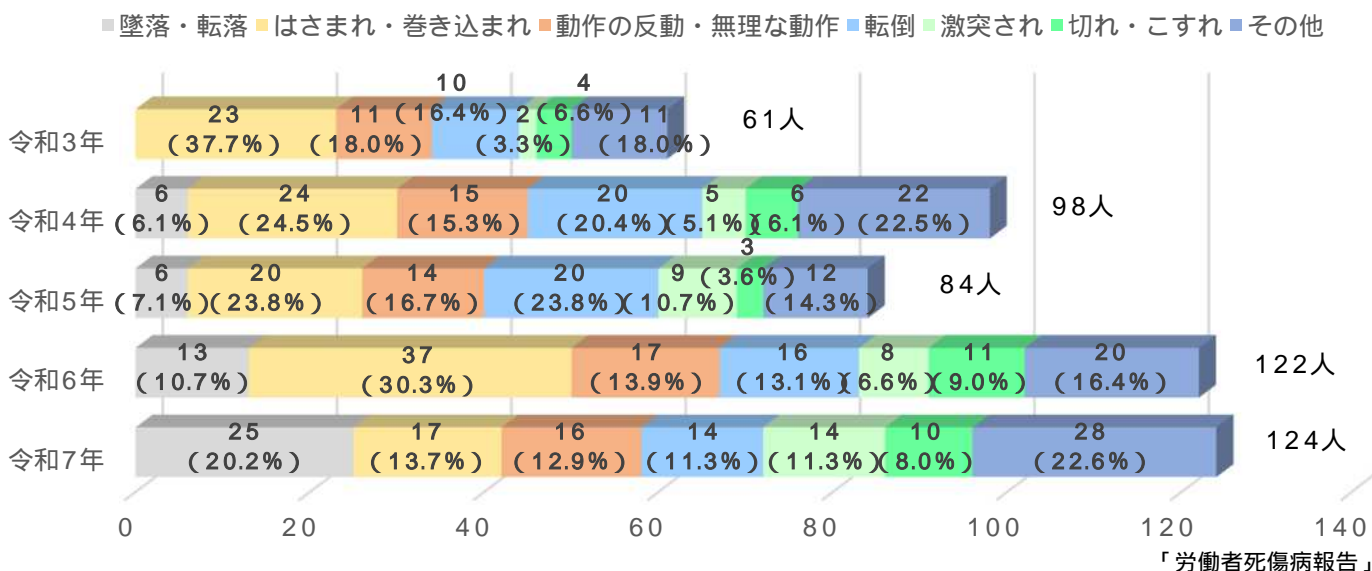
外国人労働者による労働災害は増加傾向にある。全災害に占める割合は、令和7年は建設業が16.1%、畜産業16.9%を占め、年々増加する傾向にある一方、製造業の占める割合は年々減少しており、令和7年は52.4%となった。

業種別外国籍死傷災害発生状況



外国人労働者による事故の型別の労働災害は、「はさまれ・巻き込まれ」が減少した。また、「墜落・転落」が増加する傾向にある。

事故の型別外国籍死傷災害発生状況



● 死亡災害の概要（令和7年）

番号	業種 (規模)	発生日 時間帯	事故の型	被災者の職 種 年代	災害発生の概要
1	畜産業 (12人)	3月 10時頃	激突され	作業 者 50代	トレーニングセンター内の馬場において、被災者が取扱馬を引いていたところ、当該馬が突然暴れだし、後ろ足で背部を蹴られ負傷したが、入院先の病院で肺塞栓を発症し、令和7年4月に死亡したものの。
2	建設業 (2人)	6月 10時頃	墜落・転 落	配管工 50代	マンションの新築工事現場において、配管材（約10kg）を各階の設置箇所に運ぶ作業を被災者を含む5人で行っていたところ、1階エレベーター乗り場付近を通りかかった作業員がエレベーターピット内で流血し倒れている被災者を発見したものの。
3	運送業 (46人)	7月 5時頃	交通事 故 (道路)	運転手 60代	被災者が最大積載量2トンの小型トラック（平ボディ）を運転し、国道1号線を名古屋方面に向け走行していたところ、前方で信号待ちで停車していた最大積載量4トンの中型トラック（平ボディ）に追突したものの。
4	警備業 (117人)	8月 21時頃	交通事 故 (道路)	警備員 50代	被災者が湖南省夏まつり2025の雑踏誘導警備業務を県道4号線にて行っていたところ、草津方面から水口方面に向かって走行していき乗用車に轢かれたものの。
5	畜産業 (4人)	8月 14時頃	墜落・転 落	作業 者 70代	飼料用のトウモロコシの収穫作業に従事していた被災者が、収穫したトウモロコシを保管するサイロにおいて、高さ約2.6メートルに積み上げた飼料にビニールシートを被せるため、飼料の上にあがり、ビニールシートを引っ張り上げていた際、飼料から墜落したものの。
6	運送業 (7人)	9月 9時頃	交通事 故 (道路)	運転手 70代	工事現場に向かうため、林道を走行していたところ対向するコンクリートミキサー車が来たが、道幅が細く離合出来ないため、被災者は離合できる場所まで後退していたところ、路肩から車両ごと斜面に転落したものの。
7	その他の林 業 (22人)	10月 9時頃	その他 の 転倒	作業 者 70代	伐倒木を持ち上げるため、伐倒木の下に棒を差し入れ、別の伐倒木に左足を掛けて力を入れてたところ、左足を掛けていた伐倒木が動き、バランスを崩した被災者が転倒した。このとき、左足を掛けていた伐倒木に左足と臀部を強打し、骨盤部の骨折により、出血性ショックを起こしたものの。
8	運送業 (1人)	11月 10時頃	交通事 故 (道路)	運転者 60代	国道を軽貨物自動車を運転し走行中、緩やかなカーブで中央線をはみ出し対向車線を走行してきた大型トラックと正面衝突したものの。

※本資料は、県内等での同種災害の再発防止に資することを目的に作成しています。
速報性を重視しているため、今後において加筆・修正を行う場合があります。

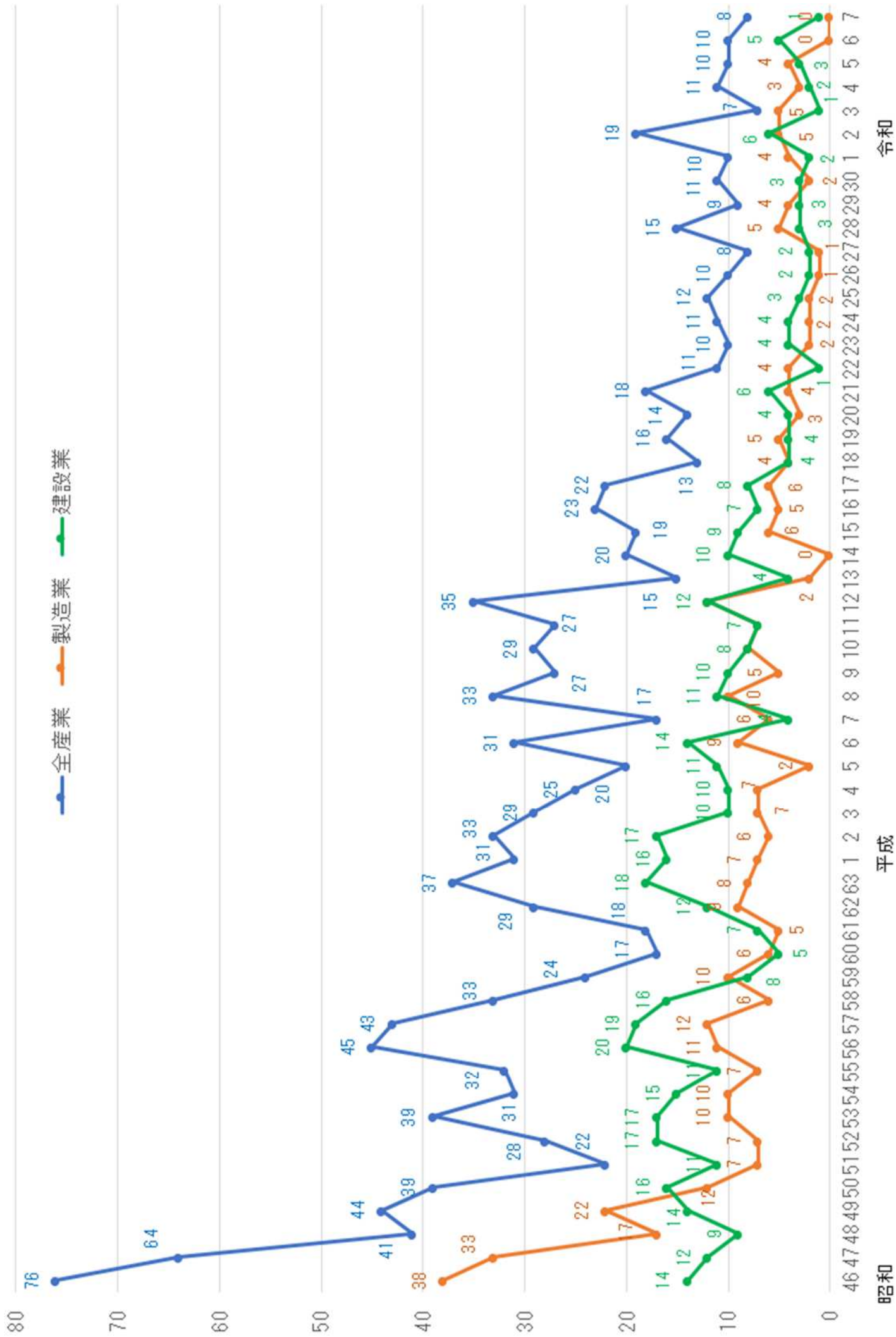
年別・業種別労働災害発生状況（過去10年）

業種	年別		28	29	30	元	2	3	4	5	6	7								
製造業	食料品製造業	(1)	87	(1)	76	75	67	67	72	82	68	73	64							
	繊維工業		7		17	22	17	(1)	10	16	12	(1)	19	11	8					
	衣服・その他の繊維製品製造業		5		2	2	3	5	2	5	5	6	9							
	木材・木製品製造業		9		7	(1)	15	(1)	19	(1)	13	19	13	10	12	14				
	家具・装備品製造業		5		2	1	3	3	6	5	5	2	3							
	パルプ・紙・紙加工品製造業		10		9	11	12	14	15	(1)	19	8	18	23						
	印刷・製本業		10		9	17	3	10	(1)	6	6	6	3	9						
	化学工業		57	(1)	68	55	(1)	66	56	(1)	51	(2)	49	(1)	63	67	60			
	窯業土石製品製造業	(1)	27	(1)	35	26	37	(1)	26	(1)	22	22	25	31	29					
	鉄鋼業		13		10	4	8	3	8	1	6	4	3							
	非鉄金属製造業		10		6	9	7	3	4	7	(1)	4	8	2						
	金属製品製造業	(1)	60	(1)	72	64	(1)	60	(1)	41	58	55	60	60	54					
	一般機械器具製造業		38		31	(1)	45	(1)	29	(1)	35	(1)	44	46	34	36	39			
	電気機械器具製造業	(1)	41		28	38	30	25	34	42	35	37	41							
	輸送用機械器具製造業	(1)	21		20	23	18	23	26	28	26	27	21							
	電気・ガス・水道業		1				2	1	2	1		1	1							
	その他製造業		13		14	31	16	28	(1)	32	19	28	22	26						
	[製造業計]	(5)	414	(4)	406	(2)	438	(4)	397	(5)	363	(5)	417	(3)	412	(3)	402	418	406	
	鉱業		3		1	1	1	2	1	2	3	2								
建設業	土木工事業		23		21	(1)	25	(1)	29	(1)	28	(1)	35	(1)	38	32	(3)	27	27	
	建築工事業	(3)	62	(1)	65	58	66	(4)	88	55	(1)	82	(1)	57	(2)	75	(1)	58		
	(内 木造家屋建築工事業)		29		18	20	20	20	14	27	15	(1)	13	10						
	その他の建設業		33	(2)	38	(2)	44	(1)	53	(1)	32	28	47	(2)	33	27	25			
	[建設業計]	(3)	118	(3)	124	(3)	127	(2)	148	(6)	148	(1)	118	(2)	167	(3)	122	(5)	129	(1)
運輸交通業	道路旅客運送業・その他		19		14	(1)	14	16	15	12	12	14	12	18						
	道路貨物運送業	(1)	162		125	155	127	(1)	136	133	(2)	139	(1)	144	146	(3)	127			
	[運輸交通業計]	(1)	181		139	(1)	169	143	(1)	151	145	(2)	151	(1)	158	158	(3)	145		
貨物取扱業		8		4	9	6	2	10	10	13	14	5								
農業		10		9	7	(1)	8	(1)	15	8	10	9	11	19						
林業		4		11	15	(1)	5	3	8	5	5	3	(1)	5						
水産・畜産業	(1)	92	(1)	109	95	91	98	97	119	122	130	(2)	141							
その他の事業	(6)	524	(1)	539	(5)	542	(2)	577	(6)	625	(1)	635	(4)	627	(2)	684	(5)	633	(1)	705
(内 社会福祉施設)		90		75	87	100	144	131	120	126	139	124								
(内 清掃・と畜業)	(2)	51		53	59	60	50	55	(1)	61	(2)	63	(2)	51	63					
(内 商業)	(3)	187	(1)	199	(2)	195	(2)	200	(1)	204	(1)	195	(1)	191	253	(3)	214	242		
(内 接客娯楽業)	(1)	99		100	(1)	82	91	(1)	101	82	105	112	96	124						
合計	(16)	1354	(9)	1342	(11)	1403	(10)	1376	(19)	1407	(7)	1439	(11)	1503	(9)	1518	(10)	1498	(8)	1536

() 内は死亡者数を内数で表示

労働災害には、新型コロナウイルス感染症によるり患者を除いています

● 死亡災害の推移



● 労働災害発生状況の推移

